

『意見まとめ』冊子（案）

テーマ① 広域レベル

1. 地域づくり

(1) 地域ビジョン

- 市は将来的なまちづくりや財政のビジョンを持ち、それを示すべき。
 - ・市が長期ビジョンを示すべき。
 - ・市はどのように歳入を増やしていくのかビジョンを持つべき。
 - ・駅前の区画整理事業も一等地なのに何のビジョンもなく非常にもったいない。
- 地区の特性を活かしたまちを目指す。
 - ・地区ごとの特徴を活かす。（駅北は住居、駅南は文化）
- 若者が集まり働ける場所があるまちを目指す。
 - ・若者が集まり働ける場所があるまちになってほしい、若者は東京へ出てしまっている。
 - ・若者が集まるように大学などがあれば良い。
 - ・静岡市を参考に若者が住みやすいまちにする。
 - ・産業・人口がふえるような街づくり。
 - ・働く所が少ない、人口減少、子供・若者を増やすまちづくり。
- 高齢者や子供が暮らしやすいまちを目指す。
 - ・高齢者を重視したまちづくり。
 - ・老人が安心して住めるまち。
 - ・子供が住みやすい安全で明るいまちづくり。
 - ・市としてまちの賑わい、人口対策（子育て支援）など本腰を入れてやる必要がある。
- 多様な年代が暮らしやすいまちを目指す。
 - ・あらゆる年代の人が住みやすいまち。
- 新しい視点でまちづくりを考える。
 - ・過去の歴史を大切に物事を進めてきたが新しい視点で進めることも必要
- 歴史を生かしたまちを目指す
 - ・路面電車の復活など昔の考えを検討することも必要
- 温暖な気候を生かし、住みやすいまちを目指す。
 - ・気候が温暖で住みやすいまち。
- 港などの資源を活用した目玉をつくり、観光まちづくりを目指す。
 - ・観光の目玉や賑わいイベントを作る、三島市などライバルを作って対抗させる。
 - ・港は賑わっているので駅・新東名SA等と面的に周遊させるルートを考える。

- ・港を活かしたまちづくり。
- ・港の活用。
- ・富士山や伊豆へのアクセスを活かし宿町にする。
- ・港が賑わっているので駅周辺へも呼び込む、年配者も若者も集まれる施設がほしい。

(2) 広域的都市拠点

■既に東部の拠点は三島駅に移っているので三島駅を開発すべき。

- ・沼津は衰退しているので東部拠点として三島駅を高架化してはどうか。

■商業施設の誘致などにより、沼津駅周辺に都市機能を集積すべき。

- ・鉄道高架よりも集客が見込める施設をまず作るべきではないか。
- ・駅周辺は東部の中心としてもっと開発した方が良い。
- ・東部地区の行政や民間大手の支店が集積し東部地域の拠点都市である。
- ・三島や函南を視野に入れ大きな視点で都市施設を考えるべき。たとえば5万人収容のスタジアムなど見当違いのことを考えることが大切。
- ・駅周辺にサントムーンや御殿場アウトレットのような集客施設。
- ・商業的なまちづくり、大型ショッピングセンターがほしい。
- ・昔はまちへ行くといえば沼津駅前だった。(富士急、ニチイ、マルイ、西武)

■三島駅等に遅れを取っているので、東部の拠点として開発を進めるべき。

- ・新幹線が三島に停車するようになって人の流れが変わった。
- ・デパートなどの買い物ができる施設がないので、東京、静岡に行ってしまう、バスの本数が少ない、しっかり開発しないと他都市に遅れをとる。
- ・沼津は富士と三島に取られてなくなってしまった。
- ・三島との連携。東部拠点都市という広域の視点。
- ・東部地域の中心という気持ちを持つ、三島の施策で見習うべきは見習う。
- ・東部の拠点都市にふさわしいまちになるため高架化をしなければならないと思う。

■東部地域は、他地域に比べ取り残されている。県は東部地域にもっと力を入れるべき。

- ・中西部に比べて東部だけ取り残されている気がする。
- ・県は東部に対してもっと力をいれるべきでは。

(3) コンパクトシティ政策

■駅周辺に都市機能を集積させて利便性の高いまちにする。

- ・都市機能(市役所や病院など)を集積させて利便性を高めれば首都圏からのリタイヤ組が定住するのでは。

- ・ 駅周辺に住んでいると買い物など、利便性が良い。
- ・ 魅力ある商品を販売している店や駐車場を集積させる。
- ・ 駅の近くに行政施設があれば良い。

■まちなかでの自転車の利便性を向上すべき。

- ・ 自転車が利用しやすい環境の整備、まちなかに駐輪場がほしい。

■歩いて暮らせるまちづくりを目指す。

- ・ 歩道優先でまちづくり。
- ・ 歩行者が南北を往来しやすいまちづくり。
- ・ 人がまち中を歩いてくれるようなまちづくり。

(4) ソフト施策

■かつての中心市街地の資源の活用、港との連携、土産物の開発による商業活性化などにより賑わいをとりもどす。

- ・ 添地町など昔の資源を活かして賑わってほしい。
- ・ 港が賑わっているので駅周辺へも呼び込む。
- ・ 出張に合わせて買えるおみやげの開発。

■観光ルートを検討や観光資源のPRを積極的に行い、国内外の観光客を呼び込む。

- ・ 中国人や韓国人は富士山が好きなので富士山を目玉に海外から観光客を呼ぶことができる、フェリー・鉄道・バスが1日乗り放題の切符を活用して観光ルートを検討する。
- ・ 沼津アルプス（ハイキング）、寿司、富士山を広域的な良い面としてPRすべきでは。

■商店や駐車場を集約させて利便性を向上し賑わいもたせる。

- ・ 魅力ある商品を販売している店や駐車場を集積。

■ハード事業を行っただけでは活性化しない。合わせてソフト施策を検討すべき。

- ・ どうやって人を集めるのかを商店は考えているのか？高架というハードができてもソフトがないと良いまちにならない。
- ・ まずソフトがあってからハードがあるべき。商店街の人や市の商工部隊も入る体制で、高架事業とのすり合わせとソフトの検討をすべき。
- ・ 高架イコール活性化ではない、ソフトが大切ということは理解すべき。

(5) 推進体制

■担当者が数年で移動し、これまでの経緯が継承されない役所の体制に問題がある。

- ・役所は3年程度で異動してしまう。

■県と市が足並みを揃え、連携してPIや事業に取り組んでもらいたい。

- ・市は県の仕事だと思っている。
- ・市が積極的に関与していないことが不満。
- ・市は何もやっていない。縦割り行政を改善すべき。
- ・PIをやっているが市職員の姿が見えない。
- ・県と市の考え方にズレがある。
- ・市はPIに参加していないのでやる気がないのと同じ。

■市長がもっとリーダーシップをもって取り組むべき。

- ・市長が島田市長のようにもっとリーダーシップを持って強力に進めるべき。

■県は東部地域にもっと力を入れて取り組んでもらいたい。

- ・県は東部に対してもっと力をいれるべきでは。

2. 成長戦略

(1) 地域資源

■富士山、沼津アルプス、沼津港、千本浜などの恵まれた地域資源があることを活かし、積極的にPRして活性化させる。

- ・海、山などの豊かな自然と食品。
- ・香貫山ハイキング。
- ・みどりが多い。
- ・海・山・川の自然が豊富。
- ・松原は新鮮な空気を放出するので環境に良い。
- ・海の活用。
- ・自然（山、狩野川）、沼津港などの地域資源を活用する
- ・都会の人が沼津アルプス（ハイキング）、寿司、富士山があっってこんな良いところはないと言っていた、沼津アルプス（ハイキング）、寿司、富士山を広域的な良い面としてPRすべきでは。
- ・国1沿いの桜・千本浜・海など既存の地域資源で人を呼ぶ。
- ・沼津アルプス（ハイキングコース）、海・魚・富士山など良い素材はたくさんある。

■かつて賑やかだったころの中心市街地の資源を活かす。

- ・昭和58年に勤務していた頃は中心街が賑やかだった、添地町など昔の資源を活かして賑わってもらいたい。

■農作物や海の幸などの名産品も地域資源地域資源として活かす。

- ・野菜がおいしい。
- ・海の幸、みかん。
- ・沼津の干物。
- ・（原地区の）納園と呼ばれたほどの農作物。
- ・（原地区の）納園で取れた野菜や牛乳を沼津御用邸に献上していた。

■他とまちないはない地域資源があるはずだが活かされていない。

- ・他のまちにない良いものもあるはずだが活かされていない。

■温暖な気候を活かした住みやすいまちづくりをする。

- ・気候が温暖で住みやすいまち。

(2) 広域連携

■三島と連携し東部の拠点都市としての機能関係を図る。

- ・三島との連携。東部拠点都市という広域の視点。

(3) 新たな産業

■企業誘致を図り、人口増を図るべき。

- ・人口が減少している、企業誘致などで人口を増加させる努力が必要。(高架化では増えない)

(4) 人口減少・少子高齢化

■少子高齢化対策として、子育てしやすいまちづくりを進めるべき。

- ・人口減少、子供たちが安心して暮らせるまちづくり。
- ・子育てを重視、高架化をするなら防災や子育てに予算を回すべき。
- ・富士や三島に遅れをとっている、清水町や長泉町は人口が増えているが沼津は減っている、市としてまちの賑わい、人口対策(子育て支援)など本腰を入れてやる必要がある。

■高齢者が楽しめる施設を整備するなど、高齢者を重視したまちづくりをすすめるべき。

- ・年配者が遊べる施設がほしい。
- ・高齢者を重視したまちづくり。
- ・中心市街地の衰退、老人が買い物できる場所が少なくなっている、人口が減少し空き家が多くなると犯罪も多くなる、老人が安心して住めるまち。

■商業施設や大学誘致などを行い、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要だ。

- ・若い世代は、市外へ引っ越してしまう若者が住みやすいまちづくり。
- ・若者が集まるように大学などがあれば良い。
- ・若い人が集まる商業施設。(病院や介護施設では老人しか集まらない)

■企業誘致などにより、人口を増加させることが必要だ。

- ・人口が増えるようなまちづくり。
- ・産業・人口が増えるようなまちづくり。
- ・人口が減少している、企業誘致などで人口を増加させる努力が必要(高架化では増えない)。
- ・まちに魅力がなく人口が減少している。何かしらの行動を市が行うべき。
- ・人口が減少している状況で高架化しても活性化するとは思えない。

3. 災害リスク

(1) 大規模地震・津波・液状化

■津波対策を優先して進めるべき。

- ・高架化も良いが、津波の方が気になる。
- ・優先順位を付けたら高架化よりも津波対策の方が先だと思う。
- ・高架化よりも津波対策の方が先だと思う。
- ・中心市街地のほとんどが津波被害に遭うと思われるので、山側の開発をすべき。
- ・毎日香貫山に登るが沼津は低地だと思うので津波対策をしっかり考えるべき。
- ・高架予算を津波対策や教育費に回すべき。
- ・高架が津波の防波堤代わりになることを期待している。

■液状化対策を進めるべき。

- ・津波・液状化対策。
- ・液状化が心配。

■避難路を確保すべき。

- ・避難路の確保。(車で避難したい)

(2) リスク対策

■防災意識が高まっているタイミングであることを踏まえ、防災対策をしっかりと考えてほしい。

- ・開発や計画が遅くなったことにより防災などの観点を取り入れることができるようになったのはメリット。新しい技術や防災の視点をしっかり活かしてほしい。

■鉄道高架により、冠水の被害が軽減されることをもっと広報活動すべき。

- ・冠水、高架によるメリットを前面に押し出した広報活動が重要。

■高架以外の対策もあるのだから、冠水対策として高架の必要性を主張すべきではない。

- ・渋滞や冠水で高架の必要性を主張しないでほしい。(ポンプ増設や道路改修のみで十分)

■地盤が悪いため、地震より高架が転倒するのではないかと不安だ。

- ・地盤が悪く津波浸水域が広いので防災対策を充実してほしい、地盤が悪く地震で高架が転倒する可能性があるので反対。

■高架化するのであれば、津波対策をしっかりとしてほしい。

- ・高架下をシェルターに使えないか。
- ・高架化するなら盛土構造にして津波対策として考えるべき。
- ・高架化するなら避難施設として活用するため高くしてほしい。

■三ツ目ガード等の冠水対策が必要。

- ・三ツ目ガードは事故が多く冠水する。
- ・三ツ目ガードの渋滞と冠水。
- ・冠水する地区の対策を優先した方が良い。
- ・台風のような大雨の時、冠水が怖いので三ツ目ガードの利用を考えてしまう。

■原地区は、まず治水対策を進めるべき。

- ・原は水が浸かる所なので治水対策を先にやるべき。
- ・原地区の海岸堤防は高さはあるが幅が狭いので津波が心配。貨物ヤードができるとコンテナが押し流されて危険。

■地震・津波対策に予算を使うべき。

- ・地震対策に予算を使うべき。
- ・津波対策に予算を使ってほしい。
- ・膨大な震災復興費が必要なときに高架化が必要か。

4. 総合整備事業

(1) 事業目的

■貨物の需要が減っている中で、大規模な貨物駅は必要か。

- ・貨物の取扱量の伸びが見込めない中、大規模な貨物駅は必要か。

■総合整備事業の目的が示されていない。事業の目的を明確にして説明すべき。

- ・鉄道高架、周辺区画整理事業の目的説明がなされていない、P I の進め方に間違いはないと思っているが事業目的が示されていないので話がぶれる。
- ・高架事業の目的は何か。ステップ2（目標の設定）の前に、明確に説明する必要があるのではないか。
- ・なぜ高架化する必要があるのか明確に説明すべき、これまでの説明では根拠が薄すぎる。
- ・高架事業に関する根拠説明がほしい。
- ・高架化の適否の判断が難しく、自分には分からない。
- ・何を目指しているのかわからない。
- ・なぜ総合整備事業を行うのかという分析が必要。
- ・高架化の適否が判断できない。
- ・高架化するメリットを説明してほしい。
- ・高架化する意味はあるのか。

(2) 鉄道高架事業

■事業実施までに時間がかかりすぎている。まちに活気を取り戻すために、やるなら早く高架化を進めるべき。

- ・高架事業や区画整理、原地区、どれも中途半端なので縮小しても良いので先に進めてほしい。
- ・早く高架化してほしい、何でも反対ではもったいない。
- ・高架事業に時間がかかりすぎ。
- ・まちが衰退し寂しい、南北自由通路が早くほしい。
- ・早く高架化してほしい。時間がかかりすぎ。
- ・自分が生きている間に高架は完成しないと思う。
- ・高架化するなら早くやるべき、高架化しなければいけないでも良い。
- ・高架化はやらなければならない、駅南に人通りが少なくなった。

- ・かつては高架反対だったが計画がここまで計画が進んだ以上、早期完成を望んでいる。
- ・早く高架化すべき、まちが元気にならないと沼津が良くならない。
- ・高架化を見越して引っ越してきたので早く高架化してほしい。

■高架化は時間がかかる。暫定的な南北自由通路の設置などの早期にできる対応が必要だ。

- ・南北自由通路が早くほしい。
- ・高架化まで千本松フォーラム利用のため南北自由通路を作るべき。
- ・高架は時間がかかるので橋上駅でも良いので早くつくってほしい。
- ・まちが衰退し寂しい、南北自由通路が早くほしい。
- ・早く高架化してほしい(着手が遅い)、仮設でも良いので南北自由通路がほしい。
- ・早く高架化すべき、コンベンションセンターへの南北自由通路は仮設で良いので作るべき、現状では利便性が悪すぎる。

■他都市の事例を参考にし、高架下の利用方法を早く検討すべき。

- ・高架下の利用は大阪など他の都市を参考にすべき。
- ・高架下の活用方法を知りたい。
- ・高架下スペースの利用方法が未決定なのはおかしい。高架下は駅や駅周辺利用者の利便性を高めるため補償してでもすべて無料駐車場にすべき。

■高架事業に対する市民の関心が薄い。(もっとPRすべき)

- ・高架に対して、市民の関心が薄い。

■高架化により、南北の交通渋滞の解消を図ってもらいたい。

- ・南北交通が不便、早く高架化してほしい。
- ・南北交通が不便、まちに賑わいが無い、早く高架化してほしい。
- ・県外から沼津へ越してきたが入場券を買って南北を往来する人は見たことが無い、早く高架化すべき。
- ・三ツ目ガードの渋滞がひどいので早く高架化してほしい、歩行者が南北を自由に往来できる通路は必要だと思う。

■高架事業と周辺の区画整理事業により、一体的な街まちづくりの実現や新しい商業施設の立地、駅周辺への集客が期待できる。

- ・高架化し周辺の区画整理事業や新しい商業施設を集積させる。
- ・集客が少ない、駅南は高齢化が進んでいる、50年、100年先を考えてやるべきことをやる、高架化は反対されてもやった方が良い。
- ・新宿町のあたりは高架化に賛成する人が多いと思う、駅南北が別々のまちのようだが高架化で少しは一体的になると思う、ガード付近の渋滞や冠水、駅南北

の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。

■社会資本整備が進み、経済効果も期待できることを考えれば、高架にかける投資はむだにはならない。

- ・早く高架化してほしい、ほとんどの人が賛成していると思う、約 800 億円の税金が使われたとしても関連労働者に支払われた給料から税金として戻ってくる分もある。高架化された鉄道も残るのですべてが無駄な投資ではない。

■高架化以外の選択肢も十分検討する必要がある。

- ・市財政が厳しい時なので、高架化か道路の単独立体か良く考えないといけない。
- ・南北自由通路ができれば便利になる。

(3) 土地区画整理事業

■既に進められている区画整理事業が中途半端な状況で止まってしまうことは、まちづくりの観点からも地権者のことを考えても避けるべき。

- ・区画整理で移転を待っている方もいる。
- ・架事業や区画整理、原地区、どれも中途半端なので縮小しても良いので先に進めてほしい。
- ・区画駅南第一地区の地権者であるが5年程交渉していない。
- ・早く高架化して区画整理地内をきれいなまちに整備した方が良い。
- ・事業が中止になったら区画事業なども進んでいるので市が訴えられないか心配。

■土地区画整理事業の目的が説明されていない。(もっと説明すべき)

- ・鉄道高架、周辺区画整理事業の目的説明がなされていない。
- ・駅前の区画整理事業も一等地なのに何のビジョンもなく非常にもったいない、市民の関心を持たせるような広報が必要。

■高架事業と周辺の区画整理事業により、新しい商業施設や市役所などの行政施設が立地することを期待している。

- ・高架化し周辺の区画整理事業や新しい商業施設を集積させる。
- ・駅南区画整理地に市役所を移転すれば良い。(展望台も可)

■東部拠点第一区画整理区域内は一方通行で通行しにくい。

- ・東部拠点第一地区の区画整理区域内は一方通行が多くて通行しにくい。

(4) 貨物駅移転

■貨物駅が移転されると、踏切の待ち時間長くなるなどデメリットが考えられる。何かメリットがあれば示して欲しい。

- ・貨物駅が来ると踏切が閉まっている時間が長いのでは、貨物駅移転のメリットはあるのか。

■貨物駅の必要性を明確に示すべき。

- ・バブル期の計画のため貨物は需要が変わってきているのではないか。
- ・貨物の取扱量の伸びが見込めない中、大規模な貨物駅は必要か。原地区は住宅が密集している貨物駅には適さない。

■地域にデメリットをもたらし、賛否で住民の対立を生む貨物駅移転は、原地区以外で検討すべきである。

- ・地元に対立を生み貨物駅を持ってくることに反対。
- ・高架化はやるべきだが貨物駅は沼津ではなく吉原に持っていけば良い、原の買収済用地は福祉施設など公共施設を作れば良い。
- ・貨物駅が移転できなければ現貨物駅を高架化して対応すれば良い。
- ・貨物駅を東駿河湾環状線の方に移転・整備する。

■貨物駅移転と鉄道高架化は別の問題として分けて考えるべき。

- ・原地区では貨物ヤードの移転に反対している。迷惑施設は誰も反対だろう。(その気持ちはわかる。)ただ、貨物ヤードの移転に反対というのが高架反対にシフトしてしまっている。

5. 財政、費用効果

(1) 事業費

■財政状況厳しい中で、事業費の負担が可能か不安である。予算のシミュレーションを出して欲しい。

- ・財政面が心配。
- ・財政状況は変わって、このまま進めたら大変なことになる。予算のシミュレーションを出してほしい。
- ・高架化で費用が掛かり、孫の代に迷惑が掛かる。
- ・高架化は費用が掛かりすぎるので橋上駅やオーバーステッドが良い、高架化は空港が需要予測を誤り赤字になっているのと同様の結果になる。
- ・高架化は沼津の規模ではコストが掛かりすぎ。

■市の事業費負担や補助金について誤解している市民もいるので、きちんと説明すべき。

- ・(事業費の)800億円は国、県、市で負担するので、全てが市の負担ではないが、それを一般の人は知らない。→PRすべき
- ・高架にかかるお金を他のことに使ってはという意見があるが、(高架事業への)補助金が他のことに使えと勘違いしている人もいる。(そういう人に対して)お金のしくみについても説明が必要。

■高架化は事業費をかけてでもやるだけの価値がある。

- ・沼津市の特異性である東西交通は良いが南北が悪いことを考えるべき。狩野川とJRが問題だが川は動かせない。JRを何とかするのが問題で、そのための800億円は高くはない。
- ・費用が掛かっても早く高架化してほしい。

(2) 財政負担

■市の財政状況を考えると高架化は無理ではないか。

- ・高架化するに越したことはないが市の財政的に無理だろう。

■高架化事業に予算を付けすぎではないか。高架以外の事業が進まなくなることが心配だ。地震対策や福祉政策に予算を振りわけべき。

- ・高架のみに予算を付けすぎではいけない、地震対策に予算を使うべき。
- ・膨大な震災復興費が必要なときに高架化が必要か。
- ・高架化をするなら防災や子育てに予算を回すべき。

- ・高架事業ではなく子育て支援や福祉を充実させるべき。
- ・子供たちのために市の教育費に予算を使ってほしい。
- ・高架予算を津波対策や教育費に回すべき。
- ・市の高架の基金は、他の課の貸付金として土地の購入に充てられている。将来は貸付先の課が予算を組んで現金を用意して、基金の返却に充てるので、その予算では（本工事費という意味での）工事や補修に使用できない。また、市の建設事業費が現状と変わらないと仮定すればほとんど高架費となり、一般建設費は非常に少なくなってしまう。

■事業を途中で止めた場合、これまでの投資が無駄になる。

- ・事業を途中で止めては中途半端になるしそれまでの投資も無駄になる。

■市民の税負担が増えるのであれば事業を進めるべきではない。

- ・財政面が心配、税負担が増えては困る。

（３）コストベネフィット

■公表されている費用対効果(B/C)の結果は本当か。市の活性化に結び付く様な、費用に見合った効果があるのか疑問である。

- ・財政面が心配（本当にB/Cは合っているのか）、福祉に予算を充当してほしい
- ・B/Cと沼津市の活性化に関連がない
- ・費用対効果は目安であってお金ではない
- ・高架化するには時機を逸したのではないか、費用に見合う効果はあるのか、人口が減少していく中で貨物の需要は見込めるのか
- ・高架化は費用に見合う効果がないので反対である

■貨物駅移転の効果があるのか疑問である。

- ・貨物駅移転のメリットはあるのか。

（４）総合化の効果

■事業の効果を分かりやすく説明してもらいたい。

- ・高架によるメリットの説明が不足、わかりやすく柔らかい表現でPRする。
- ・大宮の高架化などを見て高架化のメリットをみんなに知ってもらおうと良い。

■高架化したからといってまちが活性化されるわけではない。事業費に見合う効果が発揮されるようにする必要がある。

- ・高架化してもまちが活性化するとは思えない。
- ・高架化してほしいが予算に見合う効果があるようにしてほしい。
- ・高架化でも橋上駅でも結構だが税金の投入は最小で最大の効果が上がるようにしてほしい。

6. 事業期間

(1) 意思決定時期

■まちの衰退に歯止めをかけ、渋滞を解消するために早く事業を進めてもらいたい。

- ・仲見世が衰退している、早く決断をしないと新幹線の二の舞になる。
- ・財政面が心配だが早く決めて進まないはずい。
- ・これ以上遅らせてはいけない、早く高架化に着手しないとできなくなってしま
う
- ・早く高架化すべき、まちが元気にならないと沼津が良くならない。
- ・スピード感、早く高架化すべき。
- ・ガード付近の渋滞や冠水、駅南北の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。
- ・三ツ目ガードの渋滞がひどいので早く高架化してほしい。
- ・早く高架化してほしい、ほとんどの人が賛成していると思う。
- ・スピード感、早く高架化してほしい。
- ・平成 17 年の計画から高架化の計画の内容は変わっていない。商店街はこのままでは 10 年はもたない。今のスピード感では遅すぎる。スピードアップが必要。
- ・まちに賑わいが無い、活性化のためにも早く高架化してほしい。
- ・早く高架化してほしい。時間がかかりすぎ。
- ・時間が掛かりすぎているので早く結論を出してほしい。
- ・何をやるにも時間が掛かりすぎる、反対者が多いので高架化は無理だろう。
- ・行政からの情報不足、時間が掛かっているが何をしているのか分からない。

■高架化するにせよしないにせよ、早く意志決定をすべき。

- ・橋上駅でも良いので早くつくってほしい。
- ・高架化するなら早くやるべき、高架化しなければしないでも良い。
- ・高架化をやるやらないの決断を早くしてほしい。市長のリーダーシップが必要。

■国の財政状況からしても今実施すべきか疑問である。もう一度見直すべき。

- ・国の財政状況からしても今実施するべきかは疑問で見直すべき。

(2) 事業期間

■高架化は時間がかかるので、橋上駅でもよいので早く作って欲しい。

- ・橋上駅でも良いので早くつくってほしい。
- ・高架は時間がかかるので橋上駅でも良いので早くつくってほしい。
- ・高架化よりも短期間でできる橋上駅が望ましい。
- ・南北自由通路が早くほしい。

■時間がかかりすぎである。早く高架化を進めてほしい。

- ・高架化を見越して引っ越してきたので早く高架化してほしい。
- ・早く高架化してほしい。時間がかかりすぎ。

■まちの衰退に歯止めをかけ、渋滞を解消するために早く事業を進めてもらいたい。

- ・三ツ目ガードが混んでいる、スピード感、早く高架化すべき。
- ・ガード付近の渋滞や冠水、駅南北の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。
- ・三ツ目ガードの渋滞がひどいので早く高架化してほしい。
- ・道路が狭い、ガードは昔のものをそのまま利用している、スピード感、早く高架化してほしい。
- ・まちに賑わいが無い、活性化のためにも早く高架化してほしい。
- ・商店街はこのままでは10年はもたない。今のスピード感では遅すぎる。スピードアップが必要。

■高架化するには時期を逸してしまったのではないか。

- ・高架化するには時機を逸したのではないか。

■事業の完了までに30年もかかると効果が実感できない。事業期間中でも効果が発揮できるようにすべき。

- ・完成までに30年も掛かると効果が実感できないし関心も薄くなる。

1. 地域づくり

(1) 広域的な拠点地域

■東部地域の拠点都市として、ふさわしい施設を作り開発を進める。

- ・駅周辺は東部の中心としてもっと開発した方が良い。
- ・東部地区の行政や民間大手の支店が集積し東部地域の拠点都市である、高架化し周辺の区画整理事業や新しい商業施設を集積させる。
- ・人が集まるまちづくり、東部の拠点都市にふさわしいまちになるため高架化をしなければならないと思う。
- ・イベントを行う施設が少ない、東部地域の中心という気持ちを持つ。
- ・三島や函南を視野に入れ大きな視点で都市施設を考えるべき。たとえば5万人収容のスタジアムなど見当違いのことを考えることが大切。

■三島や函南などの周辺都市と連携を考え、広域的な視点からのまちづくりをすべき。

- ・三島や函南を視野に入れ大きな視点で都市施設を考えるべき。
- ・三島との連携。東部拠点都市という広域の視点。
- ・駅と港、戸田などを結ぶモノレールがあると便利。

(2) 地域ビジョン

■商店街は以前の様な活気がなく、まちに賑わいがなくなっていることが残念だ。活気が戻って欲しい。

- ・まちに賑わいが無い。
- ・昔ほどの賑わいが無い。
- ・昔はまちへ行くといえば沼津駅前だった。
- ・商店街が寂れている。
- ・商業の落ち込み。商店街に元気がない。
- ・人口が減って寂れた。商店の努力が足りない。
- ・デパートなどの買い物ができる施設がないので、東京、静岡に行ってしまう。
- ・空き店舗が多く活気がない。
- ・まちが寂れてしまった。仲見世商店街もシャッターを閉めた店が多い。まちに活気が戻って欲しい。
- ・まちが衰退し寂しい。
- ・まちが元気にならないと沼津が良くならない。

- ・西武が撤退してしまうが、駅周辺に活気が出ることを期待している。
- ・イーラdeなど駅南にもっと賑わいがほしい。

■商店街に魅力がなく、まちに来る目的や楽しみがないので足が遠のく。

- ・まちへ来る目的・楽しみが見つからない。
- ・子供や若者が行く店がない、商店街に魅力がない。
- ・仲見世商店に活気がなくなり駅南へは買い物に行かなくなった。
- ・まちに魅力がなく人口が減少している。
- ・まちに魅力がなく人口が減少している。
- ・まちの目玉がない。まちの活気を取り戻すため目玉となるような施設整備をすべき。

■長期的なビジョンをもってまちを考える。

- ・市が長期ビジョンを示すべき。
- ・市の姿が見えない。
- ・50年、100年先を考えてやるべきことをやる。
- ・駅前の区画整理事業も一等地なのに何のビジョンもなく非常にもったいない。
- ・短期サイクルと長期サイクルで考える。
- ・何のために高架化するのかわからない。
- ・若い人のために何を残せるか。

■何を目指し、なぜその事業が必要なのかを明確にすべき。事業をやればまちが活性化するわけではない。

- ・何のために高架化するのかわからない。
- ・何を目指しているのかわからない。
- ・人口が減っていくので高架化に関わらず沼津のあり方を考え直す時期。
- ・なぜ総合整備事業を行うのかという分析が必要。静岡駅の様に南北を一体化させた時にコンコースをどう使うのか、といったイメージを持って考える。
- ・南北交通の自由化で活性化するか疑問。
- ・高架化してもまちが活性化するとは思えない。
- ・高架化で賑わいが戻るという前提ではいけない。
- ・まずソフトがあってからハードがあるべき。
- ・高架イコール活性化ではない、ソフトが大切ということは理解すべき。

■まちを一体化して回遊性を高め、港や昔からの街並みなどの地域資源を生かした活性化を図る。

- ・他のまちにない良いものもあるはずだが活かされていない、高架化は必要だがまちの拠点（歩行者のたまり、賑わい）の考え方ができていない。
- ・添地町など昔の資源を活かして賑わってもらいたい。
- ・海の活用。

- ・港を活かしたまちづくり。
- ・海岸線を活かした観光で生きるべき。
- ・古い建物を活かしたまちづくり。
- ・整備後のきれいなまち並みに、昔ながらの沼津がほしい。
- ・駅と港を結ぶ手段があればまちが活性化するのは。
- ・空き店舗が多くなってきた、まちの回遊性を作る。
- ・散策できるプロムナードがない、人がまち中を歩いてくれるようなまちづくり。
- ・自由通路は人が通れるだけ。コンコースができてこそまちとして南北が一体になる。

■商業の集積や大型商業施設によって、商業を核としたまちづくりをする。

- ・商業施設を集積させて賑わいを取り戻す。
- ・商業的なまちづくり、大型ショッピングセンターがほしい。
- ・商業を核とした発展が良い。
- ・駅南の商店街が寂れている、商業の活性化。
- ・駅北に商業施設が少ない。
- ・高架下を無料駐車場にすれば人が集まり商業が活性化すると思う。
- ・西武が撤退してまちの今後が心配、核となる施設が必要。

■子育て世代やあらゆる世代にとって安心安全で住みやすいまちづくりをし、人口の増加を図る。

- ・子供が住みやすい安全で明るいまちづくり。
- ・あらゆる年代の人が住みやすいまち。
- ・気候が温暖で住みやすいまち。
- ・人口が増えるようなまちづくり。
- ・産業・人口が増えるようなまちづくり。
- ・人口が減少している、企業誘致などで人口を増加させる努力が必要。
- ・人口対策（子育て支援）など本腰を入れてやる必要がある。

■高齢者が歩きやすく、いつまでの安心して住み続けられるまちづくりをする。

- ・高齢者を重視したまちづくり。
- ・老人が歩きやすいまちにしてほしい。
- ・いつまでも住み続けられる住みやすさ。
- ・老人が買い物できる場所が少なくなっている。老人が安心して住めるまち。

■若者が集まり、働き遊ぶ場所がある、若者にとって住みやすいまちにする。

- ・静岡市を参考に若者が住みやすいまちにする。
- ・若者が集まり働ける場所があるまちになってほしい。
- ・若者が集まるように大学などがあれば良い。
- ・若者が遊ぶ場所が少ない。若者が遊ぶ場所を作る。

- ・若い人が集まる商業施設（病院や介護施設では老人しか集まらない）。

（３）コンパクトシティ

■公共的な都市機能を集約させて利便性を高める。

- ・都市機能（市役所や病院など）を集積させて利便性を高めれば首都圏からのリタイヤ組が定住するのでは。
- ・駅周辺に図書館があると便利。

■商業施設と駐車場を一体化して賑わいの拠点をつくる。

- ・魅力ある商品を販売している店や駐車場を集積させる。
- ・駐車場とお店を一体化してカートで押して往来できるような構造にしてほしい。駅南は駐車場とお店が離れているので老人には利用しづらい。
- ・高架下を無料駐車場にすれば人が集まり商業が活性化すると思う。
- ・まちの拠点（歩行者のたまり、賑わい）の考え方ができていない。

■現況でも駅周辺は行政施設、企業、店舗が集積した拠点となっている。

- ・公共施設（図書館等）が集積している。
- ・駅周辺に住んでいると利便性が良い。
- ・お店がたくさんある。
- ・東部地区の行政や民間大手の支店が集積し東部地域の拠点都市である。

（４）都市機能

■東部の拠点都市にふさわしい、まちに活気を取り戻すための目玉となる場所をつくる。

- ・目的地となる目玉がない。
- ・まちの目玉がない（中央公園にあった沼津城を潰してしまった）。
- ・ちの目玉がない。まちの活気を取り戻すため目玉となるような施設整備をすべき
- ・高架化のような目玉となるスパイスも必要。
- ・東部拠点都市という広域の視点。

■大型の複合的な商業施設を中心市街地に立地させ、人を集める。

- ・人が集まる施設がない。大型ショッピングモールがほしい。室内で子供が遊べる場所がほしい。
- ・複合的な商業施設が少ない。
- ・駅周辺にサントムーンや御殿場アウトレットのような集客施設。
- ・商業の核となる施設がない。
- ・駅周辺にデパート（丸井や109など）・駄菓子屋がほしい。
- ・駅ビル・コンビニがほしい。

- ・仲見世にトイレと足湯がほしい。
- ・BiVi、書店がほしい。
- ・映画館、公園がない、駅南が寂しい。

■コンベンション施設で集客を図る。

- ・キラメッセがなくなって客足が少なくなった。新しいコンベンション施設を期待している。

■駅周辺に体育館や音楽施設などの文化施設や行政施設を作って人を集める。

- ・跡地利用として体育館を希望する（現状、器具が古い）。
- ・駅の近くに行政施設があれば良い。
- ・駅周辺に音楽施設があると良い。

■商業、娯楽施設や大学等を立地させて、若者が集まり楽しめるまちにする。

- ・人がいなくて賑わいが無い、若い人が集まる商業施設（病院や介護施設では老人しか集まらない）。
- ・若者が遊ぶ場所が少ない。若者が遊ぶ場所を作る。大人も子供も楽しめるプールがほしい。
- ・若者が集まる施設がない。コンサートホールや駅ビルなど若者が集まる施設がほしい。
- ・遊ぶ場所がない。
- ・若者が集まるように大学などがあれば良い。

■若者だけでなく大人や高齢者が楽しめる施設をつくる。

- ・BiViには学生しかいないので大人が来るような施設にしたら良い。
- ・年配者が遊べる施設がほしい。

■子供が遊べたり、憩いの場となる公園の様な場所をつくる。

- ・公園のような子供の遊べる場所がほしい。
- ・公園が少ない。子供が遊べる場所がほしい。
- ・歩いて行ける公園が少ない。
- ・駅周辺に憩いの場となる大きな公園がほしい。

■まちなかに無料の駐車場や駐輪場を作り、まちに車や自転車で来やすい環境を整備する。

- ・高架下を無料駐車場にすれば人が集まり商業が活性化すると思う。
- ・駅南の商店街あたりに無料駐車場があれば客を呼べる。
- ・仲見世商店街付近に大きな駐車場が2～3つほしい。
- ・駐車場が少ない、無料駐車場の整備。
- ・自転車が利用しやすい環境の整備、まちなかに駐輪場がほしい。

■雇用を創出できる場をつくる。

- ・迷惑施設ではなく病院や美術館、雇用のある施設がほしい。
- ・働く所が少ない。

■沼津の地の利や特性を生かした施設立地を考えるべき。

- ・コンベンションは本来広大な土地に建てるのが基本だが沼津では狭すぎて世界と競争できない。
- ・コンベンション施設は富士山メッセや三島市の東レ研修センターで十分で沼津には不要。

(5) 南北市街地の分断

■南北の市街地が線路や川で分断されているので別々のまちのようになっており、出かける時からどちらに行くか選択し行き来することがない。一体的なまちづくりを考えるべき。

- ・車で来るが、目的地が駅北か駅南かでルートを考えなければならないので不便、まちが一体化していない。
- ・狩野川が南北を分断している。
- ・駅南北が別々のまちのようだ。、駅南北の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。
- ・まちが南北に分断されている。
- ・東京の大森駅の様に南と北で完結できる規模のまちなら良いが、沼津の様な規模のまちでは（南北のつながりなしでやっていくのは）難しい。

(6) ソフト施策

■個々の事業同士のすり合わせを図りつつ、ハードだけではなく人を集めるソフトを考えなければまちは活性化しない。

- ・どうやって人を集めるのかを商店は考えているのか？高架というハードができてソフトがないと良いまちにならない。
- ・まずソフトがあってからハードがあるべき。商店街の人や市の商工部隊も入る体制で、高架事業とのすり合わせとソフトの検討をすべき。
- ・高架イコール活性化ではない、ソフトが大切ということは理解すべき。
- ・市の姿が見えない。

■観光の目玉となるイベントやルートを考え、ソフト施策を充実させる。

- ・観光の目玉や賑わいイベントを作る。
- ・市内で周遊できる観光ルートを考えないと東京や静岡へ行ってしまう。

■商業施設や大学などを将来的なまちのビジョンに基づいて誘致する。

- ・空き店舗対策（誘致業者をビジョンを持って業種ごとに検討）。医大の整備（優秀な高校生に補助を出して医者を養成する）。

2. 幹線交通

(1) 渋滞・混雑

■南北行き来するためのガード付近の渋滞がひどく、緊急車両が通れないのではないかと心配である。

- ・人が多くて道が混む。
- ・南北交通の整備・渋滞解消。
- ・日吉踏切の路線が狭くて渋滞する。・三ツ目ガードの渋滞がひどい。
- ・三ツ目ガード付近の渋滞。
- ・414号の交通渋滞。
- ・あまねガードの渋滞。
- ・三ツ目ガード・あまねガードの渋滞がひどい。
- ・三ツ目、あまねガードが週末、祝日に混んでいる。
- ・三ツ目ガードの周辺（学園通りー三ツ目ガードー交差点信号）の整備を重点的にしないと渋滞は解消しない。
- ・交通渋滞、道路計画がおかしい（まち中に車が集中してよけいに渋滞してしまう）。
- ・三ツ目ガードの渋滞がひどく救急車が遅れないか心配。
- ・道路が混雑していて救急車・消防車が通れない。

■沼津までの道や南北行き来するためのガード付近の渋滞がひどく、中心市街地や対岸への足が遠のく。

- ・清水町から沼津市までの道路が渋滞しているため足が遠のく。
- ・三ツ目、あまねガードが混んでいる休日は駅北へは行かない。
- ・土日や平日夕方の三ツ目・あまねガードはいつも渋滞しているイメージがあるので駅南には行かない。
- ・駅北は駅北で買い物が完結するので駅南へは行かない。

■南北の渋滞はガードのせいだけではなく、それさえなくれば解消するものではない。耐えられないほどの渋滞でもない。

- ・渋滞や冠水で高架の必要性を主張しないでほしい（ポンプ増設や道路改修のみで十分）
- ・三ツ目ガードの渋滞は渋滞ではない。
- ・三ツ目ガードの現状の渋滞なら我慢できる、高架化の是非は分からない。
- ・三ツ目ガードの渋滞は信号機に原因がある。

- ・三ツ目ガードの渋滞は学園通りとガードの先の交差点から三園橋、市役所へと続く道路が狭いのが原因と思われるのでその区間の道路を拡幅すれば解消されるのではないか。

(2) 利便性

■車で南北を行き来する際に不便を感じる。

- ・南北交通が不便。
- ・南北交通が不便（特にあまねガード）。
- ・あまねガードのイーラde付近が走行しにくい
- ・三ツ目ガード・あまねガードの交通の便が悪い。
- ・車で来るが、目的地が駅北か駅南かでルートを考えなければならないので不便、まちが一体化していない。
- ・長泉方面から来ると線路を渡るに時間がかかる、時間がかかりすぎ。
- ・駅南から御殿場線を渡って通るが踏切の待ち時間が長く不便。
- ・駅周辺を車で抜けるのに苦勞している。時間帯によって三ツ目・あまねガードを避けて遠回りしている。
- ・沼津市の特異性である東西交通は良いが南北が悪いことを考えるべき。

■車で南北を行き来する際に不便だとは思わない。

- ・沼津へ通勤しているが南北の移動に不便は感じていない。
- ・車は運転しないが南北通行に不便は感じない。

■東西、南北方向の道路の整備が進んでおらず、区画整理地区は一方通行が多いなど、市内の道路が走りにくい。

- ・沼津の道路は走りにくい。
- ・東部拠点第一地区の区画整理区域内は一方通行が多くて通行しにくい。
- ・北から南へ行く道路や避難路が狭い。車道・自転車道の整備。
- ・東西方向の道路整備。
- ・南北方向の道路が少ない。

■駐車場が店舗や駅から離れていたり、無料の駐車場が少ないために、中心市街地に車で行きづらい。

- ・駐車場が少ない。
- ・駐車場が狭くて停めにくい。どこに駐車して良いか場所が分かりにくい。
- ・駐車場がなく、あっても高い。
- ・駅南は駐車場とお店が離れているので老人には利用しづらい。
- ・駅前ターミナルに駐車できない。
- ・無料駐車場が少ない（駐車料金を負担してまで買い物をしたくない）。

- ・無料駐車場の整備（沼津周辺は車社会なので、買い物に来て駐車場代を取られるのはナンセンス）。
- ・駅周辺に駐車場はあるが有料のため客が来ない。

■新幹線やバスなどの公共交通の便が悪い。

- ・北口のバス利用が不便。
- ・バス乗り場が少し遠い位置にあり不便。
- ・新幹線が停まらなくて不便。

（３）危険性

■ガードが大雨の際に冠水するので危険である。

- ・三ツ目ガードは事故が多く冠水する。
- ・ガードが大雨時に冠水。
- ・台風のような大雨の時、冠水が怖いので三ツ目ガードの利用を考えてしまう。
- ・高架化されれば便利になって良い、ガードの冠水の心配もなくなる。

■路面の状況や信号機の位置に問題がある場所があり運転するのに危険だ。

- ・既設道路でデコボコしているものがある。
- ・三ツ目ガードなど坂道で信号機があり怖い。

■急勾配の所でカーブがあるなど、道路の構造に問題がある場所があり運転するのに危険だ。

- ・あまねガードは勾配が急でカーブしているので、年配者が運転するのは怖い。

（４）脆弱性

■南北道路の本数が少ないことに加え、東西、南北の道路も整備が不十分である。

- ・車が多くなってくるので道路・歩道の整備が必要。
- ・車が通れる南北道路が少ない。
- ・南北方向の道路が少ない。
- ・のぼり道ガードより西側に鉄道を横断できる道も不足している。
- ・東西方向（駅北）の道路が弱い。

■高さ制限のない道を作り、大型車が通行できる道を増やしてほしい。

- ・高さ制限のない道路を作ってほしい。（特に三ツ目ガード）

■道路が狭いため、渋滞を引き起こしたり、救急車両が通れないという問題が起きている。

- ・道路が狭い。
- ・北には狭い道が多い。
- ・北から南へ行く道路や避難路が狭い。

- ・三ツ目ガードの渋滞は学園通りとガードの先の交差点から三園橋、市役所へと続く道路が狭いのが原因と思われる。
- ・道路が狭い（富士見町は救急車両も通りづらい）。
- ・三ツ目ガードの道幅が狭い。

■三ツ目ガードなど線形の悪い道がある。

- ・三ツ目ガードの線形が悪い。

■整備途中だったり一方通行の道が多いため、道路のネットワークが形成されていない。

- ・駅周辺の道路のネットワークがされていない。高架が止まっている影響で七通線も中途半端。
- ・道路整備が途中で止まっている箇所が多い
- ・三ツ目ガードを通行する大型車の迂回路がない。
- ・東部拠点第一地区の区画整理区域内は一方通行が多くて通行しにくい。

（５）広域アクセス性

■東名サービスエリアがあることを活用し、沼津港や市街地とのアクセスを向上させる。

- ・東名沼津 IC から沼津港を結ぶ道路の整備。
- ・港は賑わっているので駅・新東名 SA 等と面的に周遊させるルートを考える。
- ・新東名 SA へ行く一般道の道案内が中途半端。
- ・新東名 SA を活用、新東名 SA、あしたか PA へのアクセス道路の整備。
- ・沼津は企業が撤退する傾向にある、新東名 SA、東駿河湾環状道路、沼津駅、沼津港、健康文化タウンなどを低床バスで結べば良い。

■周辺の観光地へのアクセスの良さを生かし、通過する街ではなく滞在するまちにする。

- ・富士山や伊豆へのアクセスを活かし宿町にする。
- ・現在沼津港周辺は賑わっているが東駿河湾環状道路ができれば伊豆に人が流れてしまう。

■新幹線が停まらないことで利便性が低くなり、人の流れが変わった。

- ・新幹線が三島に停車するようになって人の流れが変わった。
- ・新幹線が停まらなくて不便。
- ・急行もなく、新幹線を使うにも乗り換えとなるので沼津駅は使いにくい。

3. 歩行者・自転車

(1) 利便性・移動性

■徒歩で南北の行き来がしづらい。料金を払って駅構内を通過することもあるが理不尽に感じる。

- ・南北交通が不便。通学に利用するので三ツ目ガードの利便性を高めてほしい。
- ・南北交通が不便、歩行者が少ない。
- ・定期券で南北を往来しているが、定期券のない人は不便だと思う。
- ・バスを駅南口で降りてガードをくぐるか入場料 140 円を出して通るが不便。
- ・南北通行で入場料 140 円を払わなければならない。
- ・県外から沼津へ越してきたが入場券を買って南北を往来する人は見たことがない。
- ・通勤時間帯の駅構内の高架通路が混んで困る。
- ・駅の通路を自由に通行できるようにしてほしい。
- ・入場料 140 円が負担になるため駅南の商店に行きづらい。
- ・駅南には行かない。

■南北往来の利便性を高めるために歩行者と自転車用の自由通路を作るべき。

- ・南北自由通路を作るべき。
- ・コンベンションセンターへの南北自由通路は仮設で良いので作るべき。
- ・南北自由通路ができれば便利になる。
- ・自転車での南北往来が一番不便なので自転車通行が可能な南北通路がほしい。
- ・仮設でも良いので南北自由通路がほしい。

■踏切の待ち時間が長く、ガードは自転車降りて通らなくてはならないなど、自転車での南北の行き来が不便だ。

- ・自転車通学しているが踏み切りの待ち時間が長くて不便。
- ・自転車で塾に行く際、駅南で降りるので不便
- ・自転車での通行が不便。
- ・あまねガードで、自転車から降りて引いて歩くのは不便。
- ・あまねガードで自転車を降りて通行するのはおかしい。

■自転車道や駐輪場の設置により、自転車が利用しやすい環境を整備して、自

転車で来やすいまちにする。

- ・自転車で来やすい。
- ・道路が狭い箇所があり自転車が歩道を走らざるをえない、自転車専用道路を増やす。
- ・自転車道の整備。

(2) 危険性・快適性

■ガードや通学路の歩道が狭く、自転車が横をすり抜ける際などに危険を感じる。

- ・歩道が狭い。
- ・通学路の歩道が狭い。
- ・三ツ目ガードの歩道が危ない。
- ・道路が狭く子供が危ない。
- ・歩道が狭い。老人が歩きやすいまちにしてほしい。
- ・ガードで歩行者のそばを自転車が通って危険。
- ・あまねガードの歩道が狭い。
- ・あまねガードで自転車から降りない人もいるので危険。

■ガードは自転車で走ることができず、安心してまちを自転車で走れない。

- ・あまねガードは自転車で走れない。
- ・市外から引っ越してきたが沼津では怖くて自転車に乗れない。

■ガードが暗く、まちに人通りも少ないので夜の通行が怖い。

- ・三ツ目ガードが暗くて子供が不安。
- ・ガードが暗くて怖い。
- ・南北自由通路があれば、夜、危険にはならない。
- ・駅周辺も人通りが少ない。
- ・歩行者が少ない。
- ・場所によって人通りにムラがある。

4. 産業

(1) 商業

■ 駅周辺は買い物などの利便性がよいエリアである。

- ・ 駅周辺に住んでいると買い物など、利便性が良い。

■ 沼津駅周辺での買い物が不便だ。

- ・ 買い物をする場所がない。
- ・ 買い物が不便。
- ・ 買い物する場所（丸井）があると良い。

■ 駅南、駅北とも賑わいが少ないし、南北の行き来をしなくなった。

- ・ 駅南が寂しい。
- ・ ふだん BiVi 中心に駅北を利用する。
- ・ 入場料 140 円が負担になるため駅南の商店に行きづらい。
- ・ 駅北にいろいろな店ができたので駅南へ行かなくなった。
- ・ 駅北は駅北で買い物が完結するので駅南へは行かない。
- ・ イーラ d e など駅南にもっと賑わいがほしい。
- ・ 仲見世商店に活気がなくなり駅南へは買い物に行かなくなった。
- ・ 駅北に商業施設が少ない。

■ 沼津駅前の商業が以前に比べて衰退しており、人出や活気が減った。

- ・ 商業が衰退している。
- ・ 仲見世が衰退している。
- ・ 空き店舗が多くなってきた。行政から商店の努力を促すことが必要。
- ・ 商店が衰退しており高架化の完成まで耐えられない。
- ・ 西武の撤退でますます活気がなくなってしまい非常にショック。
- ・ 空き店舗が多く活気がない。
- ・ 商業の衰退。個店が減少している、商業を核とした発展が良い。
- ・ 商業的な魅力が落ちている。
- ・ 静か、活気がない、商業施設が不足、人の流れがない。
- ・ 商店の努力が足りない。
- ・ 昔はまちへ行くといえば沼津駅前だった。（富士急、ニチイ、マルイ、西武）
- ・ 人が来なくなった。商店街の人も以前は2階に住んでいたが今は郊外に住んで通っている。
- ・ グルメ街道が寂れている、商店街が寂れている。
- ・ まちが寂れてしまった。仲見世商店街もシャッターを閉めた店が多い、買い物

はイシバシプラザへ行ってしまふ。まちに活気が戻ってほしい。

- ・商業の落ち込み。中心市街地の店に勤務しているが交代で休暇を取って調整しないと営業存続が厳しい。自営業（土木、建設業）の人は経営が危ういようだ。
- ・複合的な商業施設が少ない。
- ・商業の落ち込み。商店街に元気がない、魅力のある商店、イーラ d eは何のために作ったのか。
- ・まちが寂れてしまった。仲見世商店街もシャッターを閉めた店が多い、買い物はイシバシプラザへ行ってしまふ。まちに活気が戻ってほしい。

■沼津駅前の商店には、若者や高齢者など各ターゲットに合った魅力のある店が少ない。

- ・沼津の魅力が減ってきている、若者向けの洋服店がない。
- ・子供や若者が行く店がない、商店街に魅力がない。
- ・イーラ d eやB i V iは若者向けの店舗しかない。シニア向けの店舗を増やせばシニア層が集まるのではないか。
- ・大人が来るような施設にしたら良い。
- ・B i v iは高校生の溜まり場になっている。
- ・アーケードは正秀刃物を中心に頑張っている所以他の商店街も協力を。
- ・コンセプトを決めて店を設置・営業することが必要。
- ・集客力、魅力のある商業施設が少ない。
- ・駅ビル・コンビニがほしい
- ・商業施設を集積させて賑わいを取り戻すべき。
- ・駅周辺にデパート（丸井や109など）・駄菓子屋がほしい。普段の買い物はサントムーン（清水町）
- ・ブックオフがほしい。
- ・書店がほしい。
- ・BiViだけでは飽きる、プリクラ、ゲームセンターがほしい。

■大型の商業施設など、商業の核となる集客力のある施設が必要。静岡や東京に流れていた買い物客を取り戻すべき。

- ・デパートがほしい。
- ・デパートなどの買い物ができる施設がないので、東京、静岡に行ってしまう。
- ・魅力的な商店や買いたい商品がないので東京や静岡へ行ってしまふ、商業的に回復することが大事。
- ・コンベンション跡地にBiViのような施設がほしかった。
- ・大きな商店がない
- ・商業の核となる施設がない。
- ・駅周辺にサントムーンや御殿場アウトレットのような集客施設がほしい。

- ・駅ビルなど若者が集まる施設がほしい。
- ・商業的なまちづくり、大型ショッピングセンターがほしい。
- ・買い物はサントムーンか高速バスで東京に行く。

■鉄道高架による商業施設の集積に期待する。

- ・高架後の商業施設に期待。
- ・高架化し周辺の区画整理事業や新しい商業施設を集積させる。
- ・西武が撤退してしまうが、駅周辺に活気が出ることを期待している。
- ・高架下スペースには何ができるのか。

■企業誘致策など、商業活性化のビジョンとソフト施策を持つべき。

- ・高架下スペースは立地が良く儲かると思うので高架下で商売がしたい。
- ・どうやって人を集めるのかを商店は考えているのか？高架というハードができてもソフトがないと良いまちにならない。
- ・空き店舗対策。（誘致業者をビジョンを持って業種ごとに検討）
- ・若者も含めあらゆる世代を呼び込める店舗。
- ・法人税をゼロにしてでも商業を活性化する。
- ・商店街は数が多すぎる。（商店街を中心としたまちづくりは無理）

■無料または格安で利用できる駐車場が少なく、駅前に買い物に来ずらい。

- ・高架下を無料駐車場にすれば人が集まり商業が活性化すると思う。
- ・駐車場が少ない、無料駐車場の整備。
- ・まちなかの駐車場不足。
- ・駐車場は昔ほど困らない。
- ・駐車場がない、駐車場の整備、駐車料金が高すぎるので無料化すべき。

（２）観光・食

■漁港ならではの海や魚などの観光資源を活かすべき。

- ・おいしい魚料理の店がほしい。
- ・以前は渋滞の要因だった観光客が分散化している。
- ・港が賑わっているので駅周辺へも呼び込む。
- ・都会の人が沼津アルプス（ハイキング）、寿司、富士山があってこんな良いところはないと言っていた、沼津アルプス（ハイキング）、寿司、富士山を広域的な良い面としてPRすべきでは。沼津の魅力が減ってきている、良い素材（海、魚）がたくさんあるのに活用する努力がない。

■景観や富士山を活かした観光で国内外からの観光客誘致を図る。

- ・市内からも見る場所や季節によって富士山の絶景が楽しめる。中国人や韓国人

は富士山が好きなので富士山を目玉に海外から観光客を呼ぶことができる。

- ・ 海岸線を活かした観光で生きるべき。

■観光を鍵にした活性化と都市間競争をするべき。

- ・ 観光の目玉や賑わいイベントを作る、三島市などライバルを作って対抗させる。
- ・ 高架下に沼津の企業を紹介するブースを設置してはどうか、出張に合わせて買えるおみやげの開発。

■沼津の立地や地域性を生かした競争力のある立地施設を考えるべき。

- ・ コンベンションは本来広大な土地に建てるのが基本だが沼津では狭すぎて世界と競争できない。

(3) 新たな産業

■企業誘致など新たな産業を創りだし、人口を増加させることが必要。

- ・ 若い人が集まる商業施設（病院や介護施設では老人しか集まらない）、場外馬券・舟券売り場。
- ・ 企業誘致などで人口を増加させる努力が必要。（高架化では増えない）

■医大の誘致による医療産業の創出を。

- ・ 医大の整備。優秀な高校生に補助を出して医者を養成する）

5. 災害リスク

(1) 大規模地震・津波・液状化

■このタイミングを生かして総合整備事業に防災対策の視点を盛り込むべき。

- ・開発や計画が遅くなったことにより防災などの観点を取り入れることができるようになったのはメリット。新しい技術や防災の視点をしっかり活かしてほしい。
- ・高架が津波の防波堤代わりになることを期待している
- ・高架化するなら盛土構造にして津波対策として考えるべき。
- ・高架下をシェルターに使えないか。

■津波被害は現在の被害想定に基づく対策で充分なのか不安だ。

- ・津波が心配。
- ・津波が怖い（海岸線に人が多く住んでいる）、地震・津波対策、パネルのハザードマップを見て自宅付近の堤防高を知って安心した。
- ・高架は賛成だが自宅を含めた津波被害が心配。
- ・17mの防潮堤はあるが津波で破壊されたり乗り越えたりしないか心配。
- ・津波の被害想定と現実は違うと思う。津波が来たら諦めて死を覚悟しなければならぬ、口野の放水路ができてから浸水が減った。

■沼津駅前が地盤が悪く液状化が心配だ。

- ・地盤が悪く津波浸水域が広いので防災対策を充実してほしい。
- ・液状化が心配、防災の視点、避難ビルを指定するにも自治会がお願いにいかなければならない。
- ・沼津は地盤が良くないので心配。

■津波による川の氾濫が心配だ。

- ・津波で狩野川が溢れるのではないかと、地震・津波対策。
- ・津波ハザードマップで沼津港と狩野川の堤防高が低くなっている箇所があるので市に確認する。

■大雨による川の氾濫、浸水が心配なので、放水路の整備を進めてほしい。

- ・川が溢れる。
- ・口野の放水路ができてから浸水が減った。

■地震や津波対策の予算を強化するなど、十分な対策を取ってほしい。

- ・駅周辺まで津波が浸水しないか心配なので津波対策をしっかりとってほしい。
- ・沼津は低地だと思うので津波対策をしっかりと考えるべき。
- ・津波対策、液状化対策を推進してほしい。
- ・津波対策を優先すべき。

- ・地震対策に予算を使うべき。

■高架化よりも防災対策に予算を優先すべき。

- ・高架化をするよりも防災に予算を回すべき。
- ・市は推進方針だが津波対策の方が重要である。
- ・優先順位を付けたら高架化よりも津波対策の方が先だと思う。
- ・高架予算よりも津波対策や教育費を優先すべき。

■津波被害を想定した都市整備・市街地開発を進めるべき。

- ・中心市街地のほとんどが津波被害に遭うと思われるので、山側の開発をすべき。

(2) 避難

■駅南からの避難には鉄道駅がネックになる。

- ・津波のことを考えると高架化した方が北へ逃げやすい。
- ・地震が心配、避難路の確保。(車で避難したい)
- ・駅南の人は津波到達までに時間があれば車で避難するが鉄道がネックになる。

■高架した駅施設を災害時の避難施設として利用できないか。

- ・高架施設に避難施設機能を持たせる。
- ・高架下をシェルターに出来ないか。
- ・津波避難場所として活用。
- ・高架化するなら避難施設として活用するため高くしてほしい。

6. 総合整備事業

(1) 事業目的

■高架事業の目的と意義、必要性等について納得できる説明がされていない。

- ・高架事業の意義、目的についてきちんと整理すべき、市は橋上駅を比較検討した結果、高架を選択したのか疑問。
- ・目標設定となっているが目的が出ていない。鉄道高架、周辺区画整理事業の目的説明がなされていない。
- ・なぜ高架化する必要があるのか明確に説明すべき、これまでの説明では根拠が薄すぎる。
- ・高架事業に関する根拠説明がほしい。
- ・高架化するメリットを説明してほしい。
- ・鉄道高架事業の説明不足。
- ・渋滞や冠水で高架の必要性を主張しないでほしい。(ポンプ増設や道路改修のみで十分)

■沼津の活性化にとって本当に必要なことを考えるべき。

- ・真に沼津の活性化に必要なことを考えるべき。

■駅周辺の区画整理や道路の整備、防災対策として総合整備事業が必要だ。

- ・早く高架化して区画整理地内をきれいなまちに整備した方が良い。
- ・高架化で周辺道路の整備が進み生活が便利になることがわかった。
- ・高架下をシェルターに出来ないか。
- ・区画整理のことなどとセットで考えるべき。高架単独で考えない。

(2) 鉄道高架事業

■高架事業の目的や効果を示すべき。

- ・いつ高架化されるのか、高架化する意味はあるのか。

■高架事業では、沼津駅周辺は活性化しないのではないか。(活性化のための施策を行うべき)

- ・中心市街地は時代とともに移っていくので高架化により中心市街地活性化を図るという理由はおかしい。
- ・高架化ではまちは活性化しない。
- ・高架化はゼネコンのための事業である。

■県東部の拠点地域にふさわしいまちになるには、高架化で沼津駅周辺を活性化することが必要である。

- ・高架化のような目玉となるスパイスも必要。
- ・高架化して良くなったまちはたくさんある。
- ・東部の拠点都市にふさわしいまちになるため高架化をしなければならないと思う。
- ・高架化は地域活性化の最後の頼み綱。
- ・高架化によるまちの活性化の事例から、高架化のメリットをみんなに知ってもらおうと良い。
- ・駅南北の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。

■高架事業は時間がかかりすぎる。事業の縮小や橋上駅、南北自由通路等の方法に変更して早く対策をとるべき。

- ・高架事業は時間が掛かりすぎている。
- ・中途半端なので縮小しても良いので先に進めてほしい。
- ・高架は時間がかかるので橋上駅の方が良いのではないか。
- ・高架完成まで待てないので自由通路の方が良い。
- ・早く南北自由通路ができれば良い。

■高架化は進めるべきだが、完成までに時間がかかりすぎるので、完成前であっても南北通路等の対策は進めるべき。

- ・早く高架化してほしいが、仮設でも良いので南北自由通路がほしい。
- ・早く高架化すべき、コンベンションセンターへの南北自由通路は仮設で良いので作るべき、現状では利便性が悪すぎる。

■高架化以外の方法でも南北交通等の課題は解消されるのではないか。

- ・南北自由通路と跨線橋があれば良い。
- ・高架化の効果は、鉄道をオーバーする道路橋が数本あれば足りると思う。

■南北自由通路等の代替案では自転車の通行ができないので、高架化してほしい。

- ・財政面が心配だが早く決めて進まないともまずい、南北自由通路のみでは自転車の通行に対応できない。(特に高校生)

■ガードの混雑、開かずの踏切等、南北交通が不便なので高架化してほしい。

- ・高架時の三ツ目ガードはどうなるのか。
- ・南北交通が不便、高架化される範囲が気になる。
- ・南北の往来が不便なので、早く高架化してほしい。
- ・3つのガードがすべて渋滞している、来年にでも高架化してほしい。
- ・三ツ目、あまねガードが休日に混雑するので早く高架化すべき。
- ・電車・貨車が停止信号で線路上に停止して踏切が開かない時があるので高架化は有効。

- ・沼津市の特異性である東西交通は良いが南北が悪いことを考えるべき。
- ・清水町から沼津市までの道路が渋滞しているため足が遠のく、渋滞解消のため高架は必要だと思う。
- ・三ツ目ガードを通行する大型車の迂回路がないので高架化するメリットはある。
- ・三ツ目ガードが渋滞して不便なので、早く高架化すべき。
- ・ガードが渋滞しているの、早く高架化すべき。
- ・道路が狭く、ガードが古いままである。早く高架化してほしい。
- ・交通渋滞解消のため強制収用してでも高架化は必要。

■自転車でのガードの通行が危険なので、高架化してほしい。

- ・あまねガードは（危険で）自転車で走れないので早く高架化してほしい。
- ・あまねガードで自転車から降りない人もいるので危険。

■歩行者の南北の行き来が不便なので、高架化してほしい。

- ・入場券を買って南北を往来する人は見たことがない、早く高架化すべき。

■商業活性化など賑わい創出に期待する。

- ・まちに賑わいがなく、活性化のためにも早く高架化してほしい。
- ・早く高架化すべき、まちが元気になるないと沼津が良くならない。
- ・高架化はやらなければならない、駅南に人通りが少なくなった。

■駅の利便性向上に期待する。

- ・高架後にエスカレーターがあれば便利、駅ビル・コンビニがほしい。
- ・早く高架化して、エレベーターが利用できるようになると良い。

■ガードの冠水解消に期待する。

- ・高架化されれば便利になって良い、ガードの冠水の心配もなくなる。

■南北市街地が一体化してまちが活性化することに期待する。

- ・自由通路で良いという人もいるが、自由通路は人が通れるだけ。コンコースができてこそまちとして南北が一体になる。

■高架化により周辺道路の整備が進むことに期待する。

- ・高架化で周辺道路の整備が進み生活が便利になることがわかった。

■高架事業がボトルネックになり都市計画が進まない。都市整備を早く進めてほしい。

- ・高架事業がボトルネックになり都市計画が進まない。

■高架化によって生まれたスペースを、商業、観光、文化施設、駐車場などに利用してまちの活性化に活かすべき。

- ・高架下スペースには何ができるのか。
- ・高架後の商業施設に期待している。
- ・高架下スペースの利用方法は決まっているのか、立地が良く儲かると思うので高架下で商売がしたい。

- ・高架下を無料駐車場にすれば人が集まり商業が活性化すると思う。
- ・新橋のような鉄道下の飲み屋がほしい。
- ・高架下に沼津の企業を紹介するブースを設置してはどうか。
- ・高架下スペースなどに沼津の干物や物産の販売所を。
- ・高架下のスペースを若者に自由にに使わせて人が集まる仕掛けをしてはどうか。
(アート施設など)
- ・高架化は必要だがまちの拠点(歩行者のたまり、賑わい)の考え方ができていない。高架下の利用は大阪など他の都市を参考にすべき。
- ・静岡駅など高架下が駐車場となっている所が多い。
- ・高架下スペースの利用方法が未決定なのはおかしい。高架下は駅や駅周辺利用者の利便性を高めるため補償してでもすべて無料駐車場にすべき。
- ・まちが便利になれば良いので高架化してほしい。

■高架施設を避難施設や防波堤にする等、災害対策に期待する。

- ・防災の視点、高架施設に避難施設機能を持たせる。
- ・高架が津波の防波堤代わりになることを期待している、かつては高架反対だったが計画がここまで計画が進んだ以上、早期完成を望んでいる。
- ・高架化するなら避難施設として活用するため高くしてほしい。

■高架事業に対する知識や関心もあまりないので、事業の是非を考えるのが難しい。

- ・高架事業を知らなかった。
- ・高架事業の詳細がわからない。
- ・高架化について詳しく知らない。
- ・高架事業がなぜストップしているのか知らなかった。
- ・駅周辺で区画整理をしているのは知っていたが、高架事業は知らなかった。
- ・市民の高架事業に対する関心が薄い。
- ・高架化の適否の判断が難しく、自分には分からない。
- ・高架化の是非は分からない。

■事業概要や事業メリットについて分かりやすい説明やPRが必要だ。

- ・高架によるメリットを前面に押し出した広報活動が重要ではないか。
- ・高架によるメリットの説明が不足、わかりやすく柔らかい表現でPRする。
- ・高架化の適否の判断が難しく、自分には分からない。
- ・高架化の是非は分からない。

■沼津駅前が地盤が悪く、高架した駅の耐震性が心配だ。

- ・地盤が悪く地震で高架が転倒する可能性があるので反対。

■高架化により景観が悪くならないか心配だ。

- ・高架化で駅北からの景観が悪くなるのではないかと心配。

■高架化による市の財政負担に不安があるし、他に優先すべき施策があるのではないか。

- ・高架化するに越したことはないが市の財政的に無理だろう。
- ・高架化は賛成だが財政面が心配。
- ・高架化は沼津の規模ではコストが掛かりすぎ。
- ・市財政が厳しい時なので、高架化か道路の単独立体か良く考えないといけない。
- ・高架化ではなくオーバースで良いと思う。お金の掛からない手法が良い。
- ・高架化で費用が掛かり、孫の代に迷惑が掛かる。
- ・子供たちに借金は残したくない、南北自由通路で十分。
- ・高架本体事業が始まれば市外への引越しを考えている。(税負担の増加が心配、子供世代まで税負担が続くのではないか)
- ・高架は不要、住めればそれで良い、高架事業は税金の無駄遣い。
- ・高架化の予算を他の事業に回すべき。
- ・優先順位を付けたら高架化よりも津波対策の方が先だと思う。
- ・市の財政、人口が減少している状況で高架化しても活性化するとは思えない。交通には不便を感じないので、高架予算を子育て支援に回すべき。

■物流量が減少してる状況なので、高架事業の見直しが必要だ。

- ・物流量が落ちてきている時代なので高架事業は考えた方が良い。

■予算に見合う効果がないのではないか。高架事業は、コストベネフィットがあるようにしてほしい。

- ・高架化してほしいが予算に見合う効果があるようにしてほしい。
- ・高架化で賑わいが戻るという前提ではいけない、高架化は費用に見合う効果がないので反対である。

■高架事業は、長期的な視点に立てばコストベネフィットが見込めるので、将来への投資として有意義だ。

- ・早く高架化してほしい、ほとんどの人が賛成していると思う、約 800 億円の税金が使われたとしても関連労働者に支払われた給料から税金として戻ってくる分もある。高架化された鉄道も残るのですべてが無駄な投資ではない。
- ・沼津市の特異性である東西交通は良いが南北が悪いことを考えるべき。そのため 800 億円は高くはない。
- ・財政面を心配する声もあるが高架化でスムーズに通行できた方がエコである。
- ・次世代への投資として、費用が掛かって早く高架化してほしい。
- ・50 年、100 年先を考えてやるべきことをやる、高架化は反対されてもやった方が良い。

■高架化について市民間で合意形成を図るのが難しい。

- ・高架事業は新聞等で大変そうだと感じている。

- ・反対者が多いので高架化は無理だろう。
- ・高架事業に関する住民投票を実施すれば良い。

■高架化するのかわからないのか、早く結論を出してほしい。

- ・高架化をやるのかやらないのか早く決断しないとイケない。

■早く高架化してほしい。

- ・早く高架化してほしい。

(3) 土地区画整理事業

■区画整理事業のビジョンを明確にして効果を上げるべき。

- ・駅前の区画整理事業も一等地なのに何のビジョンもなく非常にもったいない。

■現状では中途半端なので、事業を進めるべき。

- ・中途半端なので縮小しても良いので先に進めてほしい。
- ・区画整理が中途半端なのでしっかりやる。
- ・区画整理が進んでいるが中途半端にバリケードが残って景観を悪くしている。
- ・早く高架化して区画整理地内をきれいなまちに整備した方が良く、これ以上遅らせてはいけない、早く高架化に着手しないとできなくなってしまう。

■区画整理事業後の用途を市民に伝えてほしい。アイデアもある。

- ・区画整理された土地に何が出来るか気になる。
- ・駅南区画整理地に市役所を移転すれば良い。(展望台も可)

(4) 市街地再開発事業

■事業のPRが不足しており、どのような事業なのか分からない。

- ・駅北で現在行っている事業がPR不足でわからない。

■コンベンションセンターを作っても集客の効果が見込めるのか疑問。

- ・税金の投入は最小で最大の効果が上がるようにしてほしい、コンベンションセンターを作ってもどれだけ利用されるのか疑問。

(5) 車両基地移転

■新車両基地を新たな産業のための施設や市民のための施設として利活用してはどうか。

- ・新貨物ヤードは漢方薬を作る畑や藻で石油をリサイクルする施設にしてはどうか。
- ・新車両基地はゲートボール場として活用する。

(6) 事業のマネジメント

■市が積極的に事業を推進していないことに不満。責任を持って事業を進めるべき。

- ・市は県の仕事だと思っている。
- ・市が積極的に関与していないことが不満。
- ・市は何もやっていない。縦割り行政を改善すべき。
- ・市長がだらしない。
- ・市長がもっとリーダーシップを持って強力に進めるべき。
- ・事業が中止になったら区画事業なども進んでいるので市が訴えられないか心配。

■構想段階から現在まで時間がかかりすぎている。早く進めてほしい。

- ・早く高架化に着手しないとできなくなってしまう。
- ・構想段階から時間が掛かりすぎ。
- ・高架事業がうまくいけば良いが時間が掛かりすぎている。
- ・時間が掛かっているが何をしているのか分からない。

■着工から完成までに時間がかかりすぎて、市民が関心を持ってない。(効果を実感できるようにしてほしい)

- ・完成までに30年も掛かると効果が実感できないし関心も薄くなる。

■ハード整備と同時に地域活性化のソフト施策も検討を進めるべき。

- ・高架下のスペース活用の検討は高架事業と同時進行で進めてほしい。

■長期的視点を持って、産業振興や人口の集まるまちづくりを目指すべき。

- ・長期的視点、産業・人口が増えるようなまちづくり。

7. 事業期間

(1) 意思決定時期

■高架化するかしらないかの結論を早く出すべき。

- ・高架化をやるやらないの決断を早くしてほしい。
- ・早く決めて進まないはずい。
- ・時間が掛かりすぎているので早く結論を出してほしい。
- ・高架化するなら早くやるべき、高架化しなければしないでも良い。

■南北交通や渋滞、冠水、一体的なまちづくり等が進まないで、早く高架化を決定して着工してほしい。

- ・早く決断をしないと新幹線の二の舞になる。
- ・早く高架化してほしい。
- ・南北自由通路がない、車では渋滞して南北通行がしにくい、早く高架化してほしい。(着手が遅い)
- ・ガード付近の渋滞や冠水、駅南北の一体的なまちづくりを考えると早く高架化してほしい。
- ・費用を掛けずスピード感を持って取り組む。
- ・来年にでも高架化してほしい。
- ・生きている間に完成しないのではとあきらめている。
- ・これ以上遅らせてはいけない、早く高架化に着手しないとできなくなってしまう。

(2) 事業期間

■構想段階から現在まで時間がかかりすぎている。(今後もスムーズに進むとは思えず、時間がかかると予想されるので不安だ)

- ・何をやるにも時間が掛かりすぎる。
- ・構想段階から時間が掛かりすぎ。
- ・高架事業がうまくいけば良いが時間が掛かりすぎている。
- ・時間が掛かっているが何をしているのか分からない。

■高架事業の着工や完成を待ってられないので、商業活性化や交通利便性などを考えると、仮設でも良いので橋上駅や南北自由通路などの整備を進めるべき。

- ・高架化まで千本松フォーラム利用のため南北自由通路を作るべき。
- ・商店が衰退しており高架化の完成まで耐えられない。
- ・仮設でも良いので南北自由通路がほしい。

- ・早く高架化すべき、コンベンションセンターへの南北自由通路は仮設で良いので作るべき、現状では利便性が悪すぎる。

■早く高架化してほしい。

- ・無駄な投資にはならないので、早く高架化してほしい。
- ・南北交通が不便なので早く高架化してほしい。
- ・高架化を見越して引っ越してきたので早く高架化してほしい。
- ・南北交通が不便だし、まちに賑わいがないので、早く高架化して解消してほしい。
- ・ガードを自転車では通行しにくいし、まちなかの駐車場が不足して不便なので早く高架化してほしい。
- ・歩行者の南北の行き来が不便なので、早く高架化してほしい。
- ・計画は途中まで進んでいるのだから、早く完成してほしい。
- ・高架化は一度は決定しているのだから、早く高架化すべき。
- ・まちの活性化のために、早く高架化すべき。
- ・南北交通が不便だし、災害時の避難にも不安があるので、早く高架化すべき。
- ・ガードが渋滞しているので、早く高架化すべき。
- ・駅にエレベーターがなく不便なので、早く高架化してほしい。

1. 地域づくり

(1) 地域ビジョン

■静かで自然豊かな環境を残し、富士山の景観や納園としての歴史等を活かしたまちづくりをして欲しい。

- ・静かで穏やかなので、このままの自然豊かな場所を残して欲しい。
- ・原地区から見える富士山、納園と呼ばれたほどの農作物、時代に則した規模の計画にすべき。

■新東名SAなど、周辺のプロジェクトと連動したまちづくりを進めるべき。

- ・原地区は新東名のSAを活かしたまちづくりをすべき。
- ・新東名にスマートインターをつくるべき。

■将来を見据えたビジョンを示すべき。

- ・市は将来を見据える力が欠けている。(市長に先見の明がない)

■健康文化タウン等の整備により、地区の活性化を図るべき。

- ・健康文化タウンを作り、より活性化する。

2. 交通

(1) 南北交通

■鉄道で分断された南北の歩行通路を確保すべきだ。

- ・原駅に南北通路があれば良い。

■原地区は道路整備が必要

- ・原地区の社会資本(道路拡幅)整備は必要

3. 環境

(1) 大気

■大気を浄化する作用のある千本松原を保全すべき。

- ・松原は新鮮な空気を放出するので保全すべき。

4. 地域資源

(1) 住環境

■のんびりした風土で暮らしやすい環境を維持して欲しい。

- ・のんびりした風土で暮らしやすい環境を維持して欲しい。
- ・今のままで良い。建造物はいらない。

(2) 歴史文化

■納園と呼ばれた農業地区としての歴史を生かすべき。

- ・原地区から見える富士山、納園と呼ばれたほどの農作物、時代に則した規模の計画にすべき。
- ・JR用地は明治時代に地元の人が寄付。

(3) 景観

■原地区から見える富士山や松原の景観を活かすべき。

- ・松原は新鮮な空気を放出するので環境に良い、景観も良い。

5. 産業

(1) 農業

■納園とよばれた農作物の生産地としての機能を維持して欲しい。

- ・納園と呼ばれたほどの農作物。
- ・大正天皇が皇太子時代に沼津御用邸で静養された際、原地区の生鮮品を献上した。
- ・大正天皇が皇太子時代に野菜を献上した。

(2) 商業

■周辺の開発プロジェクトに地元の事業者が参画できるようにしてほしい。

- ・新東名のSAに地元の店を入れるべき。

(3) 新たな産業

■新東名の効果を活かしたまちづくりをするべき。

- ・原地区は新東名のSAを活かしたまちづくりをするべき。

テーマ③ 原地区

6. 災害リスク

(1) 大規模地震・津波・液状化

■津波に対する対策を充実して欲しい。

- ・原地区の海岸堤防は高さはあるが幅が狭いので津波が心配。貨物ヤードができるとコンテナが押し流されて危険。
- ・津波を不安に感じているので津波対策を充実してほしい。
- ・17mの防潮堤はあるが津波で破壊されたり乗り越えたりしないか心配。

(2) 水害

■原地区はまず治水対策を行うべきである。

- ・原は水が浸かる所なので治水対策を先にやるべき。

(3) 避難

■避難場所である原中学校への避難路を確保すべき。

- ・原は水が浸かる所なので治水対策を先にやるべき。
- ・避難場所は原中学校だが遠い上に海岸の方から行かなければならない。

7. 総合整備事業

(1) 貨物駅

■貨物駅の計画規模が大きすぎて今の社会経済状況や需要に則さない。

- ・時代に則した規模の計画にすべき。
- ・貨物駅が大きすぎる。貨物の荷物は道州制を見越した対応を。
- ・貨物は需要が変わってきているのではないか。JR貨物の顔が見えない。

■財政面を踏まえて計画すべき。貨物駅移転にかかる費用を他の施策にまわすべきではないか。

- ・沼津市は周辺市町に比べ子育て施策への予算配分が少ないのでそちらに予算を使うべき。
- ・貨物の取扱量の伸びが見込めない中、大規模な貨物駅は必要か、財政の話がまったくない。
- ・まちづくりをゼロベースからやるべき、借金が多くて近隣市町は合併しない
- ・子や孫に借金を残したくない。

■貨物駅移転の原地区へのメリットが感じられない。(メリットが感じられる計画にすべき。)

- ・貨物駅移転のメリットはあるのか、駐車場がほしい。

■原地区の静かで穏やかな環境や豊かな自然環境を守りたい。

- ・静かで穏やかなのでこのまま自然豊かな場所を残してほしい。

■貨物駅移転によって、踏切による南北交通への支障が出たり、コンテナが津波で流される等、生活の利便性や安全性が脅かされることが心配だ。

- ・貨物ヤードができるとコンテナが押し流されて危険
- ・貨物駅が来ると踏切が開かずの踏み切りになり通行に支障が出る。
- ・貨物駅が来ると踏切が閉まっている時間が長いのでは
- ・原地区は住宅が密集している貨物駅には適さない

■貨物駅移転以外の方法で地区の活性化を図ることは必要だ。

- ・貨物駅は必要ないと思うが、原地区の社会資本（道路拡幅）整備は必要 142
- ・貨物駅は沼津ではなく吉原に持っていけば良い、原の買収済用地は福祉施設など公共施設を作れば良い
- ・健康文化タウンを作り、より活性化する

- ・新貨物ヤードは漢方薬を作る畑や藻で石油をリサイクルする施設にしてはどうか
- ・貨物駅を東駿河湾環状線の方に移転・整備する

■貨物駅移転に対する考えはいろいろあるが、沼津駅の高架の必要性は感じている。

- ・貨物駅が原地区に来るのは嫌だが高架化を妨げる気はない、沼津駅は古いので何らかの改修は必要。
- ・貨物駅が移転できなければ現貨物駅を高架化して対応すれば良い。
- ・高架化は進めれば良いが貨物駅の用地買収ができない状況では仕方がない。

■地域に対立の種をもたらす様な計画は望まない。

- ・地元に対立を生み貨物駅を持ってくることに反対。

(2) 環境対策

■現在の豊かな自然環境を保全してほしい。

- ・静かで穏やかなのでこのまま自然豊かな場所を残してほしい。

■貨物駅設置による住環境等の環境への悪影響が懸念される。

- ・貨物駅は環境を悪化させる。
- ・原地区は住宅が密集している貨物駅には適さない。

1. PIプロジェクト

(1) 透明性・公正性

■既に事業が進んでいるなか、今更透明性を言う必要があるのか。

- ・何故今更透明性なのか？6～7割は賛成ではないのか？反対の人の声が大きいだけではないか。

(2) 互恵的解決

■全員の意見が一致することはありません。PIをやって更にまた時間をかけず、多数決などの方法で決定して進めてほしい。

- ・6～7割は賛成ではないのか？反対の人の声が大きいだけではないか。
- ・多数決は良くないのか？本当にそうか？完全に皆が賛成になる必要はあるのか？既に立ち退きをした人もいる状況で、一旦進めたのだから（進めていくべき）。後戻りするにも費用がかかる。
- ・PI をやってまだ更に時間をかけるのか。全員一致はありません。今までのことを無にせずに（進めて欲しい。）
- ・反対者はただ反対しているので、PI で意見は変わらない。事業は（PI をやっても）進まない。
- ・事業に協力してきたのに原が反対しているがどうなるのか。

(3) 検討のステップ

■ステップ2で目標設定となっているが、そもそも事業の目的が示されていない。

- ・目標設定となっているが目的が出ていない。鉄道高架、周辺区画整理事業の目的説明がなされていない、PI の進め方に間違いはないと思っているが事業目的が示されていないので話がぶれる。

■ステップ3にある貨物駅の移転は広域テーマではなく原地区のテーマではないか。

- ・ステップ3の広域テーマにおいて貨物駅が前提のように書かれているが原地区のテーマである。

(4) PIの対象

■PIの対象は、原地区と貨物駅移転とする考えるべきではないか。(既に決まっている)高架事業が対象になるのには違和感がある。

- ・PIは貨物駅移転、原地区のまちづくりが対象だと考えていた。ところがPIは高架事業も対象だと聞いて違和感を持った。

(5) PI実施期間

■意思決定の時期をずれ込ませずに、PIを進めるべき。

- ・ゴール(時間)の設定は揺るがすべきではない。そうしないと皆の気持ちがあえてしまい、人が集まらず活気が出ない。
- ・選挙等で民意は問うてきたはず。工事が始まってからの問題をきちんと説明する等、次の具体的なステップに進むべき時期になっている。

(6) 意思決定手続

■全員一致はありえない。多数決や政治家による最終判断を下すことで、あまり時間をかけずに意思決定してほしい。

- ・今まで決めたことを進めていくべきでは。(進めるために)0%が賛成なら進めるといったルールづくり。
- ・PIをやってまだ更に時間をかけるのか。全員一致はありえない。今までのことを無にせず(進めて欲しい。)
- ・県民の代表である政治家が最終的には判断するのではないか。それしかないと思う(しそれが良いと思う。)
- ・選挙等で民意は問うてきたはず。工事が始まってからの問題をきちんと説明する等、次の具体的なステップに進むべき時期になっている。
- ・沼津は何でも反対する、反対によって自分達をPRするという特殊な地域性がある。それを理解して振り回されない様にして欲しい。

(7) 推進体制

■有識者ではなく、地元詳しい人、地域の人を入れて検討すべき。

- ・有識者ではなく地域の人を入れるべき。

■県と市が足並みを揃え、もっと連携してPIや事業に取り組んでもらいたい。

- ・市は県の仕事だと思っている。
- ・市が積極的に関与していないことが不満。
- ・市は何もやっていない。縦割り行政を改善すべき。
- ・PIをやっているが市職員の姿が見えない。

- ・県と市の考え方にズレがある。
- ・市はPIに参加していないのでやる気がないのと同じ。
- ・PIについて市からの説明がないのはおかしい。
- ・県にお願いだけしていても何も進まない。

④ PIの進め方

2. PIツール

(1) 情報提供

■オープンハウスの様に事業の情報をわかりやすく知らせ、意見を集めることは良いことだ。

- ・OHをやっていることは知らなかった、意見を聞いて進めていくのは良いことだと思う。
- ・高架事業を知らなかった。
- ・OHは良い。
- ・新聞を見て来たが人も来ている中でのオープンハウスはとても良いことだと思う。
- ・模型やパネル展示でわかりやすかった。
- ・大きい模型は初めて見るがわかりやすい。(都市計画道路がわかる)
- ・模型が立派。

■情報を増やす、オープンハウスのパネルに図や写真を多くするなどの工夫をして、分かりやすい情報提供をしてほしい。

- ・パネルは文字よりも写真を多くした方が良い。
- ・パネルの表現や文字がわかりづらい。グラフは棒グラフで。
- ・情報が少ない。

■オープンハウスはPRが不足している。

- ・オープンハウスのPR不足。

■模型やパネルの展示は分かりやすい。

- ・模型やパネル展示でわかりやすかった。
- ・大きい模型は初めて見るがわかりやすい。(都市計画道路がわかる)
- ・模型が立派。

■市民から得た意見は、冊子する等して公開してほしい。

- ・県または市主催の説明会を開催してほしい、パブリックコメントの意見を冊子にしてほしい。

(2) 意見把握

- 住民との対話の場を、当初の予定通りに開催してほしい。
 - ・勉強会はいつ始まるのか、住民との対話は考えているのか。
- 大学の先生などの学識経験者にも意見を伺うべき。
 - ・大学の先生にも意見を聞くべき。
- 若い世代を中心に幅広い年代の意見を聞くべき。
 - ・若者が住みやすいまちにする、20~30代の人意見を聞いた方が良い。
- 住民投票などを通じて、市民の判断を直接的に聞くことも必要ではないか。
 - ・高架事業に関する住民投票を実施すれば良い。
- 一つ一つの意見を聞き、総合的に判断してほしい。
 - ・他のオープンハウスで出された意見はすべて頷ける、ひとつのことにとらわれないで総合的に判断してほしい。

(3) 車座談議

- 車座談議で立場を気にせず腹を割って話したい。
 - ・車座談議で立場を気にせず腹を割って話したい。

(4) 勉強会

- 住民との対話の場である勉強会を予定通り開催してほしい。
 - ・勉強会はいつ始まるのか、住民との対話は考えているのか。

(5) PI委員会

- 健康文化タウン構想等の市民の提案や考えを、PI委員会で説明し、委員に伝えてほしい。
 - ・健康文化タウン構想をPI委員会でも伝えてほしい。